

天目山 栖雲寺

蕎麦まつり

2026年

11月7日(土)・8日(日)

両日 9:00～15:00

実りの秋
そばに集い
心をつなぐ

古の寺に
香るそば
秋のひととき

秋だけの
限定御朱印
あり

宝物風入れ展

同時開催

— 受け継がれる寺の宝に、
ふれる二日間 —

Christ

奉拝

令和八年十一月七日



天目山 栖雲寺

景德院とのコラボ、
勝頼公仁愛御朱印もごさいます

11月7日(土)

川田奥藤第二分店

による蕎麦ふるまい
(なくなり次第終了)

老舗の味を、ぜひご堪能ください。



11月8日(日)

道の駅 そばの実

勝頼公廟所景德院近く

砥草庵

地元蕎麦屋から奉納され、
祈禱後ふるまい開始。(なくなり次第終了)



シャトルバス運行(無料)

大和駅・臨時駐車場(平山運送)・栖雲寺を結びます。
どうぞご利用ください。



大和駅



平山運送
(臨時駐車場)



栖雲寺

天目山 栖雲寺

てんもくさん せい うん じ

〒409-1202 甲州市大和町木賊122

TEL 0553-48-2797

公式ホームページ

tenmokusan.or.jp



志納金

1,000円

(お一人様)

※本尊様へのお賽銭として
ご志納をお願いします。

そばと
仏の教えに
出会う秋

天目山栖雲寺 宝物風入れ展

寺宝一覧

伝灯庵（宝物殿）展示

- 木造普応国師坐像(重要文化財・彫刻)
- 木造業海本浄坐像(県指定文化財・彫刻)
- 木造釈迦如来坐像(県指定文化財・彫刻)

公民館展示

- 絹本着色十字架捧持マニ像(県指定文化財・絵画)
- 白紗地九条袈裟(県指定文化財・工芸品)
- 栖雲寺開山墓出土常滑甕(県指定文化財・考古資料)
- 武田二十四将画像(市指定文化財・絵画)
- 摩利支天の画像(市指定文化財・絵画)
- 釈迦の涅槃図(市指定文化財・絵画)
- 信玄公軍配(市指定文化財・工芸品)
- 武田軍旗(市指定文化財・工芸品)
- 信玄公陣中鏡(市指定文化財・工芸品)
- 妙智鏡(市指定文化財・工芸品)
- 兎の文鎮(市指定文化財・工芸品)
- 水差し(市指定文化財・工芸品)
- 水晶大数珠(市指定文化財・工芸品)
- 龍鬚弘子(市指定文化財・工芸品)
- 天目茶碗(市指定文化財・工芸品)
- 七宝の香炉(市指定文化財・工芸品)
- 業海筆板木(市指定文化財・書跡)
- 業海の遺偈(市指定文化財・書跡)
- 天保年間の御札板木(市指定文化財・書跡)

屋外展示

- 栖雲寺庫裏(県指定文化財・建造物)
- 栖雲寺宝篋印塔(県指定文化財・建造物)
- 栖雲寺開山宝篋印塔(県指定文化財・建造物)
- 銅鐘(県指定文化財・工芸品)
- 地藏菩薩磨崖仏(県指定文化財・彫刻)
- 文殊菩薩磨崖仏(県指定文化財・彫刻)
- 栖雲寺庭園(県指定文化財・名勝)
- 栖雲寺本堂(市指定文化財・建造物)
- 武田信満の墓(市指定文化財・史跡)

栖雲寺縁起

標高1,050mの山中にある臨済宗建長寺派の禅寺で開山は業海本浄。業海は約700年前に元（中国）へ渡り、杭州天目山の中峰明本に師事して修行。日本へ戻ると、中国の天目山によく似たこの地を生涯の修行の場として栖雲寺を開き、日夜坐禅をされました。後に武田信満（信玄の6代前）が隠棲、菩提寺としてからは東日本の幻住派の中心的寺院として栄えました。

「貞和四年戊子 開茲山建精舎」
じょうわねんつちのえね ここにやまをひらきしょうじゃをたつ



十字架捧持マニ像(県指定文化財)

近年の調査で、元の時代（13～14世紀）に描かれたものと判明。仏画でありながら十字架を持ち、マニ教の特徴である衣類（ショール）をまとい、三つの宗教が融合された、世界でも類を見ない珍しい絵画。平成22年にはニューヨークのメトロポリタン美術館、令和7年には京都国立博物館特別展「宋元仏画」に出品・展示されました。



甲州市HP



●主催

天目山 栖雲寺
山梨県甲州市大和町木賊122
☎ 0553-48-2797
<http://www.tenmokusan.or.jp>

住職 青柳真元

●協力

甲州市教育委員会
生涯学習課文化財担当
☎ 0553-32-5076